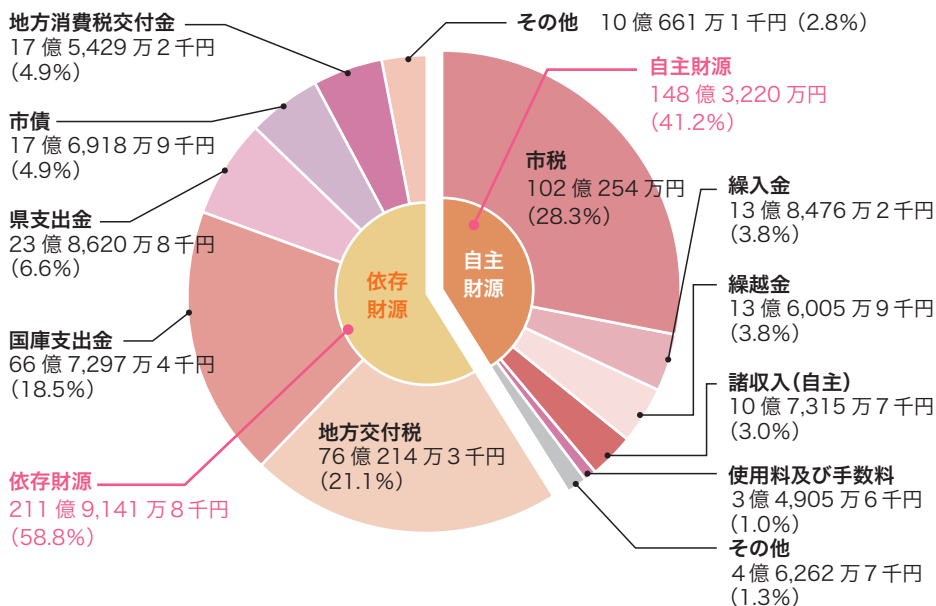


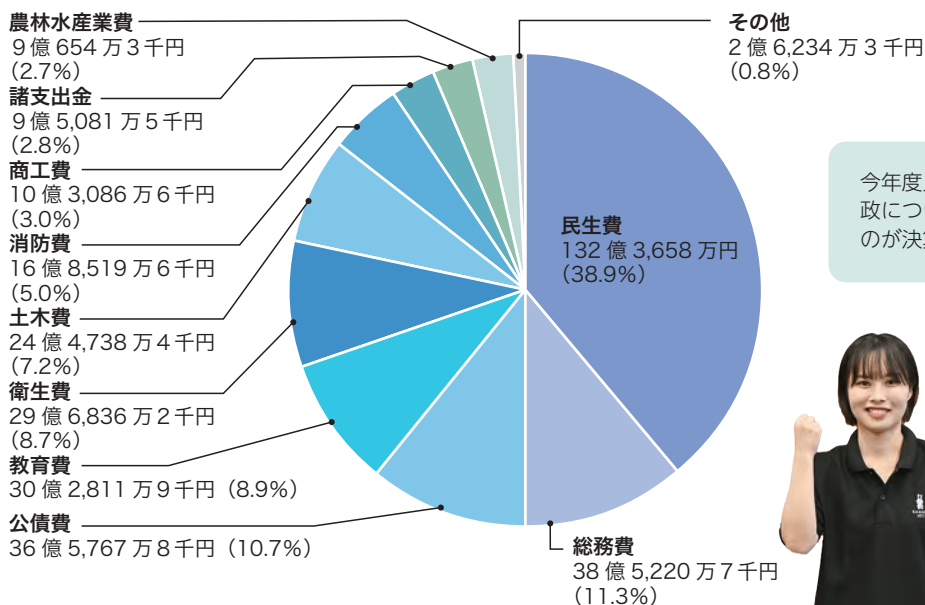
笠間市の
財政

歳入 360 億 2,361 万 8 千円

令和 5 年度
決算報告

令和5年度の決算が笠間市議会にて認定されましたのでお知らせします。
皆さんから納めていただく市税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などの収入を、医療や福祉、土木、教育など、市民生活の向上と住みよいまちづくりのために使っています。

歳出 340 億 2,609 万 3 千円



今年度入庁した新規採用職員が私たちが市の財政について説明します。収入支出の結果を表すのが決算で、毎年この時期に発表しています。



[一般会計の決算額]

歳入 360 億 2,361 万 8 千円

歳出 340 億 2,609 万 3 千円

差引 19 億 9,752 万 5 千円

基金の状況	一般会計	特別会計	計
	163 億 4,310 万 1 千円	19 億 3,186 万 4 千円	182 億 7,496 万 5 千円

[内訳]

現金・預金	有価証券
174 億 7,496 万 5 千円	8 億円

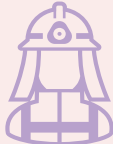
市債残高の状況	一般会計	企業会計	計
	285 億 5,974 万 6 千円	203 億 5,459 万 9 千円	489 億 1,434 万 5 千円

歳出額を市民 1 人あたりに換算すると

466,635 円

※令和6年3月31日現在人口(住民基本台帳)72,918人で算出

項目別によると

議会費 議会の運営など  3,582 円	総務費 税金の賦課、 戸籍や住民登録の経費、 広報誌の発行など  52,829 円	民生費 高齢者・障がい者・ 福祉対策・医療福祉など  181,527 円	市の運営に関わる、さまざま な事業に支出されている ことがわかります 	
衛生費 予防接種や各種検診、 ごみ処理事業など  40,708 円	農林水産業費 農林業復興支援や 農地の基盤整備など  12,432 円	商工費 商工業支援や 観光施設管理など  14,137 円		土木費 市道の整備・補修や 公園管理など  33,564 円
消防費 消防団や防災施設の 整備など  23,111 円	教育費 各小中学校や公民館・ 図書館の運営など  41,528 円	公債費 市債の元金・利子の 返済  50,162 円		諸支出金 病院・水道事業への 支払金など  13,039 円

特別会計

【特別会計】は、保険料や使用料などの特定収入により、
 特定の事業を行う会計です



区分			歳入	歳出	差引
特別会計	国民健康保険特別会計		75 億 5,896 万円	75 億 3,456 万 5 千円	2,439 万 5 千円
	後期高齢者医療特別会計		10 億 5,646 万 9 千円	10 億 5,484 万 3 千円	162 万 6 千円
	介護保険特別会計		77 億 5,642 万 1 千円	75 億 7,956 万 4 千円	1 億 7,685 万 7 千円
	介護サービス事業特別会計		2,390 万 1 千円	2,097 万 5 千円	292 万 6 千円

企業会計	病院事業	収益的	8 億 6,634 万 1 千円	9 億 2,836 万 6 千円	▲ 6,202 万 5 千円
		資本的	3,099 万 9 千円	5,364 万 8 千円	▲ 2,264 万 9 千円
	水道事業	収益的	18 億 7,530 万円	15 億 8,798 万円	2 億 8,732 万円
		資本的	8 億 8,921 万 8 千円	14 億 6,935 万 5 千円	▲ 5 億 8,013 万 7 千円
	工業用水道事業	収益的	2,979 万 6 千円	2,278 万 3 千円	701 万 3 千円
		資本的	0 円	0 円	0 円
	下水道事業	収益的	21 億 6,652 万 4 千円	21 億 6,148 万円	504 万 4 千円
		資本的	10 億 3,400 万 8 千円	18 億 3,960 万 3 千円	▲ 8 億 559 万 5 千円

合併特例債



将来市が返済するお金のうち、70%が普通交付税で措置されます

合併特例債とは

新市建設計画に基づいた事業のうち、市の一体性を高めるものや、均衡ある発展、住民福祉の向上を実現する事業の財源として、合併特例債を活用しています。具体的には、旧市町を結ぶ道路や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校の耐震化、認定こども園や地域交流センターなどの施設の整備など市民の生活に身近な事業に活用していて、平成18年度から令和5年度までの18年間で約277億円を借り入れています。

今までこんなことに使いました（令和4年度まで）

旧市町を結ぶ道路の整備や老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強、道の駅や多目的広場の整備などに活用しました。

平成18年度から令和4年度までに合計264億570万円を借り入れました。

■道路整備事業

笠間小原線（桂町工区）
大淵飯田線
友部池野辺線
友部1級3号線（小原）
南友部平町線
来栖本戸線

■学校施設等整備事業

〔改築〕

みなみ学園義務教育学校
岩間中学校
笠間学校給食センター

〔耐震補強〕

笠間小学校 笠間中学校
穴戸小学校 友部中学校
岩間第二小学校
岩間第三小学校体育館

〔その他〕

小中学校空調
笠間中学校武道場

■都市整備事業

岩間駅周辺
岩間駅東大通線
友部駅周辺
多目的広場（笠間中央公園）

■その他

まちづくり振興基金積立
地域交流センター 認定こども園 地域医療センターかさま 市民センターいわま
道の駅かさま 大日堂などの整備

令和5年度の主な使い道

幹線道路や安居工業地域、消防庁舎の整備、最終処分場の建設、あたご天狗の森公園改修などに活用しました。

令和5年度は12億6,220万円を活用しました。

■道路整備事業

○来栖本戸線……………1億730万円
○笠間PAスマートIC……………1,530万円

■都市整備事業

○安居工業地域……………1億7,400万円

■その他

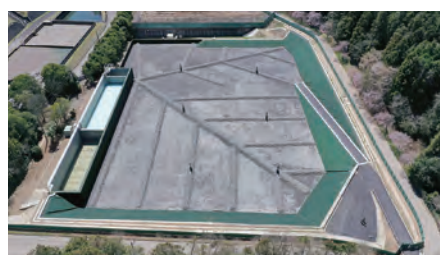
○最終処分場建設……………1億7,250万円
○工芸の丘整備……………1億1,560万円
○あたご天狗の森公園改修……………1億9,580万円
○菊栽培所整備……………1,510万円
○消防庁舎整備……………2億3,320万円
○常備消防車両更新……………1億1,050万円



あたご天狗の森公園



岩間署新庁舎



最終処分場



常備消防車両（救助工作車）

これからの使い道

令和 6 年度

安居工業地域や消防庁舎、市民球場の整備などへの活用を予定しています。

■道路整備事業

○笠間 P A スマート IC……………3 億 6,140 万円

■都市整備事業

○安居工業地域……………2 億 8,300 万円
○都市公園等施設整備……………1,050 万円

■その他

○消防庁舎整備……………2 億 1,110 万円
○工芸の丘整備……………1 億 8,510 万円
○菊栽培所整備……………3,120 万円
○市民球場整備……………4,420 万円

令和 7 年度

幹線道路や安居工業地域、市民球場の整備への活用を予定しています。

○笠間 P A スマート IC……………1 億 5,660 万円

○安居工業地域……………8,360 万円

○市民球場整備……………2,090 万円

令和 6 年度は、約 12 億円の合併特例債の活用を予定しています。真に必要なものを厳選して、有効に活用していきます。



合併特例債活用事業

■道路整備事業

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入額
大洲飯田線	H18～H22	587.9	289.9
上町大沢線	H18～H25	497.9	303.0
南友部平町線	H18～R3	1,835.2	1,136.3
来栖本戸線	H19～R5	1,494.2	698.4
笠間小原線（桂町工区）	H22～H30	797.0	342.3
友部 2 級 5 号線	H25～R4	491.6	216.8
笠間 P A スマート IC	R3～R7	1,027.2	567.6
その他の道路整備		6,789.4	3,451.9
小 計		13,520.4	7,006.2

■都市整備事業

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入額
岩間駅周辺	H18～H24	2,368.3	1,641.2
友部駅周辺（地区道路）	H26～R2	343.5	249.2
多目的広場	H30～R3	802.0	752.1
安居工業地域	R1～R7	943.6	624.6
その他の都市整備		2,397.3	1,393.0
小 計		6,854.7	4,660.1

※事業年度及び事業費は起債対象のものを指します
※事業年度、事業費及び借入額は予定を含みます

■学校等整備事業

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入額
友部中学校	H18～H19	805.5	589.0
岩間中学校	H20～H22	1,391.7	793.8
笠間学校給食センター	H23～H25	930.4	822.8
みなみ学園義務教育学校	H30～R2	1,056.7	750.6
その他の学校等整備		2,530.8	1,848.7
小 計		6,715.1	4,804.9

■その他

(単位：百万円)

事業名	事業年度	事業費	借入額
まちづくり振興基金積立	H23～H26	1,780.0	1,691.0
地域医療センターかさま整備	H27～H30	1,314.4	874.9
道の駅整備	H29～R3	2,769.4	2,134.8
最終処分場建設	R3～R5	1,366.1	931.4
消防庁舎整備	R3～R6	740.5	683.4
その他の事業		8,049.8	6,383.3
小 計		16,020.2	12,698.8

※医療センターについては全体事業費約 19 億円のうち合併特例債対象のみ記載しています

合 計		43,110.4	29,170.0
-----	--	----------	----------

○合併特例債起債可能上限額……………約 322 億円

合併特例債借入（予定）総額……………約 275 億円
（まちづくり振興基金積立分は含まない）

○まちづくり振興基金への積立上限額…約 26 億 7 千万円

まちづくり振興基金への積立額……………約 17 億 8 千万円
（積立上限額の約 67%）

※笠間市では、約 322 億円の合併特例債の活用が可能です。今後も財政状況等と照らし合わせながら真に必要なものに活用する方針です。

財政健全化法に基づく 財政指標の概要

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」に基づき、令和5年度の笠間市の健全化判断比率および公営企業の資金不足比率をお知らせします。
令和5年度決算に基づき算定した結果、すべての比率で基準を下回っています。



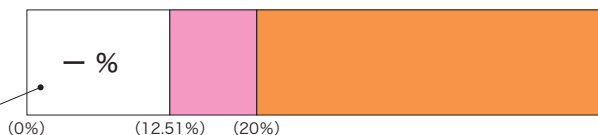
笠間市は赤字額がなく、かつ将来負担比率が算定されず、健全な財政運営が行われています。

早期健全化基準の範囲
財政再生基準の範囲

笠間市の健全化判断比率

1 実質赤字比率

黒字ということ

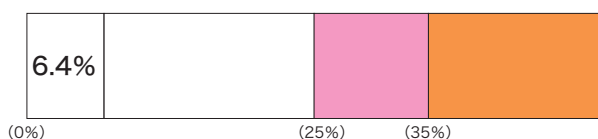


2 連結実質赤字比率

黒字ということ

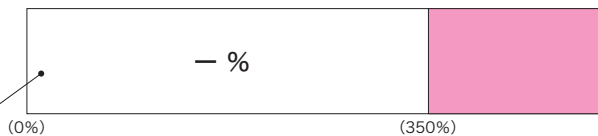


3 実質公債費比率



4 将来負担比率

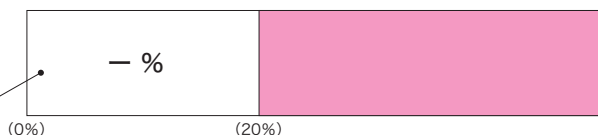
将来財政を圧迫する可能性がないということ



笠間市の公営企業の資金不足比率

5 資金不足比率

資金不足がないということ



早期健全化基準：早期健全化団体に移行する基準。早期健全化団体になると、財政健全化計画を定めて財政の健全化に向けた取り組みを行うことになります。

財政再生基準：財政再生団体になる基準。財政再生団体になると、財政再生計画を定めて財政再建に取り組むことになります。また、総務大臣の許可がなければ地方債の借入れができなくなります。

【用語の解説】

1 実質赤字比率

普通会計（一般会計）の赤字の程度を指標化し、財政経営の悪化の度合いを示すものです。笠間市の決算額は黒字であるため「0%」と表示しています。

2 連結実質赤字比率

全会計（一般会計＋特別会計等）の赤字や黒字を合算し、笠間市全体としての財政経営の悪化の度合いを示すものです。笠間市の連結決算額は黒字であるため「0%」と表示しています。

3 実質公債費比率

借入金（地方債）の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、借入金の返済による財政負担の程度を示すものです（全会計＋笠間市地方広域事務組合などの一部事務組合などが対象）。

4 将来負担比率

一般会計などの借入金や将来支払っていく可能性のある負担など、現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。笠間市の将来負担比率は算定されないため「0%」と表示しています（全会計＋一部事務組合＋第三セクターなどが対象）。

5 資金不足比率

病院事業など各公営企業会計の資金不足の程度を指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。公営企業に資金不足額はありませんが「0%」と表示しています。